

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

キッズボンド北方

調査期間：令和3年12月1日～令和4年1月31日 回答職員数：8名

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	スペースが広いため、やりたい遊びをのびのびと行えている。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0	子どもの人数に合わせシフトの調整をしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	0	行方べきルーティーンについて、写真や絵カードを利用することで視覚的にわかりやすくしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	毎日掃除や消毒を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	0	職員会議などの機会を利用し、支援について話し合っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	評価表に回答してもらい、保護者の願いを把握しより良い支援ができるように改善について話し合っている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	保護者からの評価表や自己評価表などを活用。その結果や話し合ったことなどをホームページに公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	0	実地指導などで受けた評価を参考にし、改善を行っている。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	正職員は研修に全員参加し、パートの職員にもその内容を共有している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	アセスメントを定期的に行い、子どもや保護者のニーズを把握し、それを基にしてそれぞれの個別計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	ASISTを使用し、一貫した観点で子どもの状態像を把握できるようにしている。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	子どもの支援ニーズに対応したものを選択し、具体的に支援内容を熟考・設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	作成した支援計画を職員全体で共有し、それに沿った支援が一貫してできるようにしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	行う活動について、職員間で相談しながら決定している。
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	同じ項目の活動でもルールを工夫することにより固定化しないようにしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	0	子どもの年齢や状況を考え、無理なくそれぞれの活動に向かえるように工夫して計画している。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1	職員会議を行い、設定されている活動の確認、誰がどの子どもを中心に支援するかなどの確認を行なっている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	支援についてわからないことや困ったことなどを話し合ったり、気づいた子どもの姿などを共有したりしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	支援終了後には必ず子ども一人ひとりの個人記録を作成し、それを職員間で共有・改善についての話し合いをしている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	モニタリングを行い保護者と話をすることにより、支援計画の見直し、作り直している。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	児発管の職員が参画し、よりよい支援へとつながるように共有している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	情報共有を行いながら支援を行っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	希望された保育園に個別支援計画を渡し、支援内容を伝えている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1	進学先の学校に子どもの状態像、行ってきた支援について伝えている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1	提携している専門機関との話し合いの機会を設け、支援についてのアドバイスを受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	2	事業所としての交流する機会は設けていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	3	地域との交流する機会が殆ど無い。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	送迎の際などに事業所での子どもの様子を伝え支援について話している。保護者からは直接または連絡帳にて家での様子を知らせてもらっている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	6	2	保護者にこちらで行なっている支援について伝える事があるが、明確な機会を設けているわけではない。
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	見学の際に軽く説明を行い、契約の際に本格的な説明を行なっている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	保護者と話し合いを行った上で個別支援計画を作成し、完成したものは確認してもらった上で同意を得られたときに署名・捺印をもらっている。

	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	保護者から悩みを相談された時の対応はもちろん、相談しやすいような雰囲気作りも心がけている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3	保護者会など保護者同士が交流する機会を計画・実行することが殆ど無い。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	相談や申し入れはもらった時に迅速に対応している。今後の体制について職員間で話し合い、共有している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	毎月活動予定表や通信を発行し、保護者に渡している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	鍵のかかるロッカーに保管している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	連絡帳を活用したり、大事なお知らせには個別に連絡事項を記載した紙を渡している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	2	ホームページやフェイスブックの更新などしているが、地域の方を招待する機会を設けることが殆ど無い。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	0	各マニュアルについて職員間で把握している。保護者には避難訓練や災害が起こった際の対応について周知している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	毎月災害についての話を子どもにも行い、対応について職員間で話をしている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0	入所の説明時に保護者に確認し、全職員に周知している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	全職員把握し、厳重に対応を行なっている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	気がついたことは逐一ヒヤリハット事例集を作成し、共有している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	虐待についての話をするとともに、虐待防止チェックリストを実施している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	0	契約の際などに必ず保護者に伝えた上で了解を得、計画にも記載している。やむを得ず身体拘束を行なった際は、詳しい状況などを保護者に伝えている。